



I 第17週の発生動向 (2019/4/22~2019/4/28)

1. 水痘については、弘前保健所管内で**注意報**が発令されました。
2. 伝染性紅斑については、五所川原保健所管内で**警報**が**解除**されました。弘前保健所管内、上十三保健所管内では**警報**が継続しています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
4. 感染性胃腸炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多く、むつ保健所管内では定点当たり報告数が18.25となり、警報開始基準値(20)に近づいています。
5. 手足口病については、県全体の定点当たり報告数が4週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多く、上十三保健所管内では定点当たり報告数が3.50となり、警報開始基準値(5)に近づいています。

II 第17週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科	インフルエンザ	33	2.54	19	1.27	52	3.47	32	4.57	40	4.44	24	4.00	200	3.08	-17
小児科	RSウイルス感染症	1	0.13			1	0.10	1	0.20	3	0.50			6	0.14	4
	咽頭結膜熱			1	0.11	2	0.20	3	0.60	1	0.17			7	0.17	-2
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	1.75	17	1.89	33	3.30	8	1.60	29	4.83	2	0.50	103	2.45	11
	感染性胃腸炎	56	7.00	50	5.56	115	11.50	30	6.00	21	3.50	73	18.25	345	8.21	40
	水痘	1	0.13	9	1.00	3	0.30					2	0.50	15	0.36	6
	手足口病	1	0.13	1	0.11	14	1.40			21	3.50			37	0.88	7
	伝染性紅斑	4	0.50	13	1.44	5	0.50	3	0.60	14	2.33	1	0.25	40	0.95	-13
	突発性発しん	3	0.38	2	0.22	6	0.60			6	1.00	4	1.00	21	0.50	3
	ヘルパンギーナ					1	0.10							1	0.02	-1
	流行性耳下腺炎			6	0.67	3	0.30	4	0.80			1	0.25	14	0.33	9
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎					5	2.50	2	2.00			2	2.00	9	0.82	7
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)					2	2.00							2	0.33	-6
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎											2	2.00	2	0.33	-2
	無菌性髄膜炎															0

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

# 感染症の窓

## 突発性発しん (五類定点把握対象疾患)

突発性発しんは、ヒトヘルペスウイルス6型あるいは7型などによる、乳幼児の感染症です。

症状は、38度以上の熱が3日間ほど続いた後、熱が下がった頃にお腹や背中を中心に発しんが出て、全身に広がります。発熱初期には熱性けいれんを引き起こすことがありますので、十分な注意が必要です。一般に予後は良好で、対症療法にて経過観察するのみで、予防接種はありません。

2018年に青森県内の小児科定点医療機関から報告された患者のほとんどが0歳と1歳で、全体の約89%を占めました。また、保健所管内別定点当たり累積報告数では、三戸地方+八戸市保健所管内で最も多く報告されました(図)。

なお、突発性発しんは一度かかると免疫ができますが、6型、7型2種類のウイルスにそれぞれ感染して二度発症することがあります。また、同じような症状であっても、他の重い病気の可能性もありますので、早めに医療機関を受診しましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞[突発性発疹とは \(国立感染症研究所 HP\)](#)

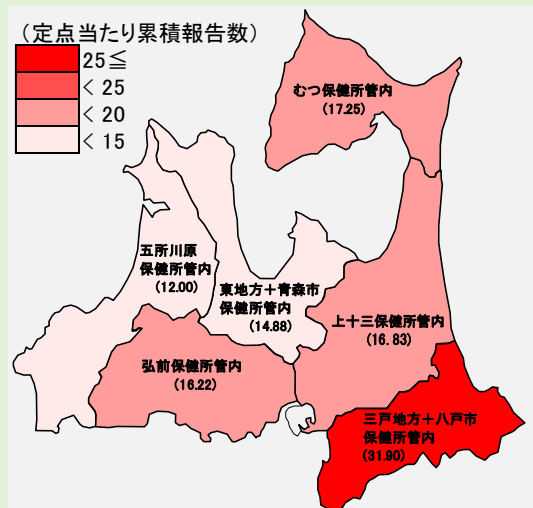


図: 青森県における保健所管内別定点当たり累積報告数 (2018年)

突発性発しんとは



### Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：弘前4人、八戸市1人、上十三1人、むつ1人（2019年計：78人）
- ・レジオネラ症（四類全数把握対象疾患）：上十三1人（2019年計：2人）
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類全数把握対象疾患）：青森市1人（2019年計：2人）
- ・梅毒（五類全数把握対象疾患）：八戸市1人（2019年計：9人）
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：八戸市1人（2019年計：11人）

### Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

### Ⅴ 県内インフルエンザ情報（2019年第10週～第17週）

- ・第17週の患者報告数は200人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは194人【A型：160人、B型：34人】でした。

保健所管内別報告数（人）

保健所名	10	11	12	13	14	15	16	17
東地方+青森市	116	108	83	38	44	42	31	33
弘前	60	68	63	43	42	51	36	19
三戸地方+八戸市	121	81	53	55	37	29	49	52
五所川原	51	93	96	74	59	36	27	32
上十三	53	65	50	80	33	22	30	40
むつ	170	311	273	56	111	97	44	24
合計	571	726	618	346	326	277	217	200

A型（迅速診断キットによる型別）（人）

保健所名	10	11	12	13	14	15	16	17
東地方+青森市	116	108	81	38	44	41	30	32
弘前	59	68	63	43	41	51	36	19
三戸地方+八戸市	121	81	53	54	35	26	38	31
五所川原	50	93	95	72	58	36	27	28
上十三	52	62	46	72	29	15	15	27
むつ	168	301	258	48	110	94	44	23
合計	566	713	596	327	317	263	190	160

B型（迅速診断キットによる型別）（人）

保健所名	10	11	12	13	14	15	16	17
東地方+青森市			2			1	1	1
弘前	1				1			
三戸地方+八戸市				1	2	3	10	21
五所川原	1							1
上十三				2	1	5	14	11
むつ				1				
合計	2	0	2	4	4	9	25	34

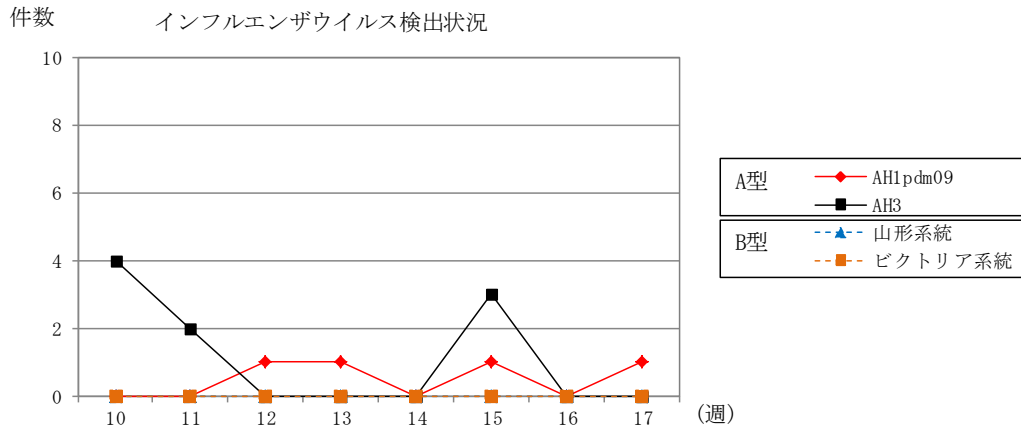
年齢区分別（人）

年齢区分	10	11	12	13	14	15	16	17
～5ヶ月	5	3	3	3	1			
～11ヶ月	5	7	6	5	7	4	4	3
1歳	30	25	24	21	13	8	12	11
2歳	25	31	43	28	17	12	8	7
3歳	27	35	26	22	18	12	7	11
4歳	31	46	38	17	17	13	3	9
5歳	37	66	42	17	16	9	11	6
6歳	33	80	36	17	8	13	14	12
7歳	11	27	25	8	6	10	7	6
8歳	32	22	16	14	7	9	6	12
9歳	25	28	15	10	6	9	9	6
10～14歳	79	83	69	31	14	35	26	28
15～19歳	23	16	13	6	5	10	21	21
20～29歳	29	32	34	21	21	18	9	14
30～39歳	30	58	49	18	36	17	17	12
40～49歳	36	47	46	25	33	27	16	15
50～59歳	33	30	36	15	30	23	13	11
60～69歳	25	28	36	23	20	18	8	6
70～79歳	29	30	25	24	19	17	5	4
80歳以上	26	32	36	21	32	13	21	6

VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス		2019							直近5週間 合計	2018/2019 シーズン 合計	
		10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週			17週
提出検体数		4	2	1	1	0	4	0	2	7	65
A型	AH1pdm09			1	1		1		1	3	21
	AH3	4	2				3			3	40
B型	山形系統									0	0
	ビクトリア系統									0	0
合計		4	2	1	1	0	4	0	1	6	61

注) 2018/2019シーズンは2018年第36週（9/3～9/9）～2019年第35週（8/26～9/1）



VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2019年第14週～第17週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
14	百日咳2人		侵袭性肺炎球菌感染症1人			
15	百日咳1人					
16	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2人	梅毒1人				
17	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人		梅毒1人 百日咳1人		レジオネラ症1人	

- ・第16週に青森市保健所管内でカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2人の届出がありましたので追加しました。

VIII 結核(二類全数把握対象疾患)（2019年第14週～第17週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
14	2	1	2	1	1	1
15		2	1			
16	2	1	4	2		
17		4	1		1	1

- ・第16週に八戸市保健所管内で結核1人の届出がありましたので追加しました。

**Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）**（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

**全国**（2019年第1週～第16週までの累計）

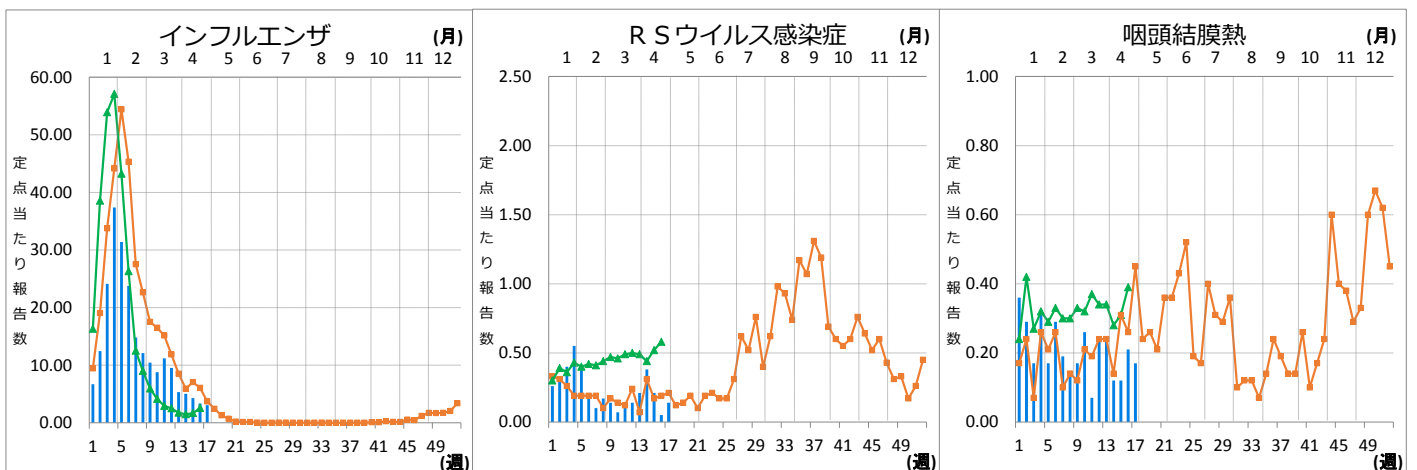
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	6155	1	30	317	9	7	146	139	3	9
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	レジオネラ症
累積報告数	1	9	2	46	93	11	1	1	11	389
分類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群
累積報告数	2	269	95	564	16	350	5	47	287	357
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症
累積報告数	11	192	18	1189	121	1	1899	44	16	27
分類	五類	五類	五類	五類						
疾病名	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症						
累積報告数	4883	1331	422	12						

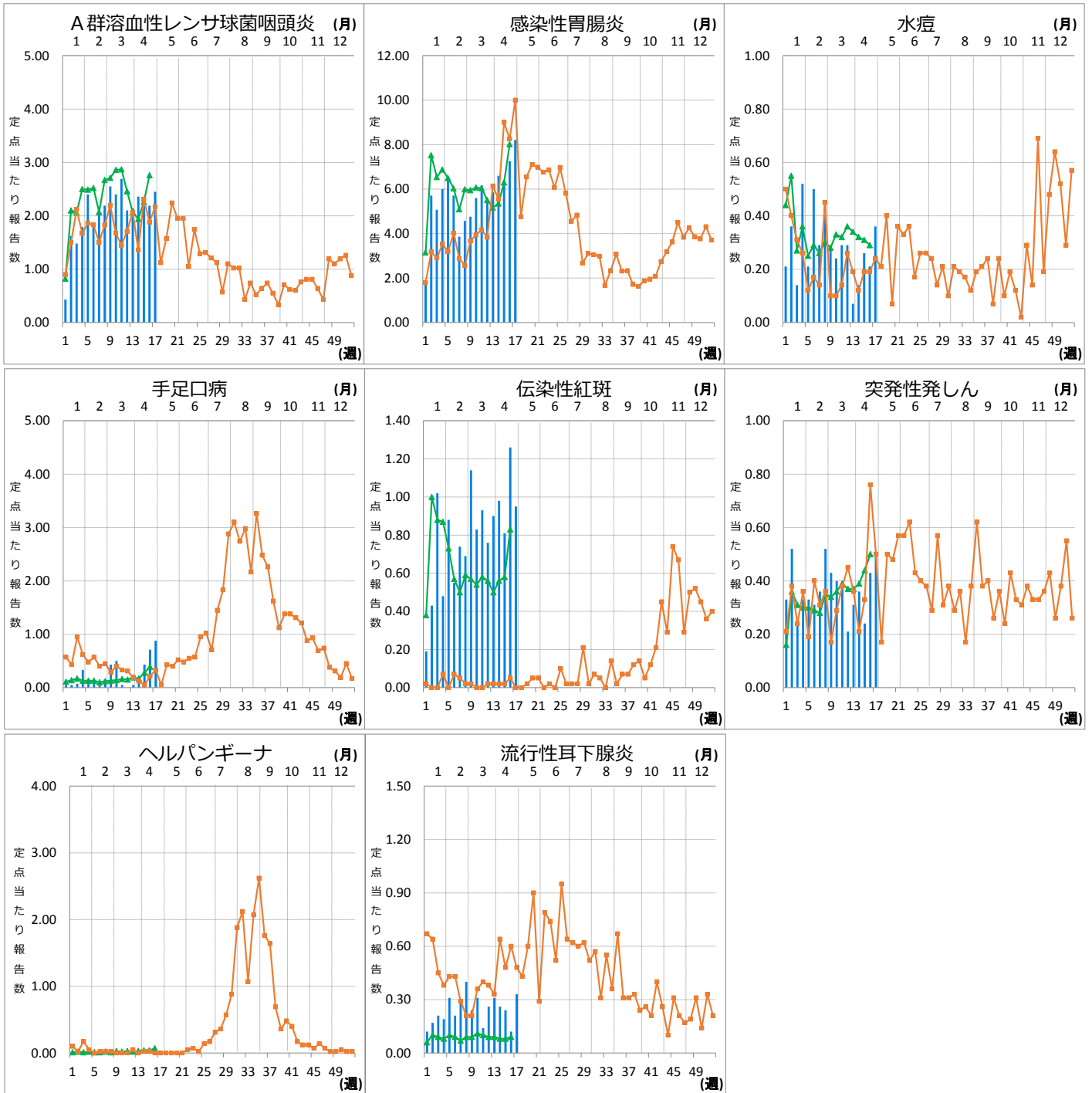
**青森県**（2019年第1週～第17週までの累計）

分類	二類	三類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群
累積報告数	78	1	2	1	13	1	1	1	2	1
分類	五類	五類	五類	五類	五類					
疾病名	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳					
累積報告数	1	8	9	3	11					

**Ⅹ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移**（2019年第17週、ただし全国は前週）

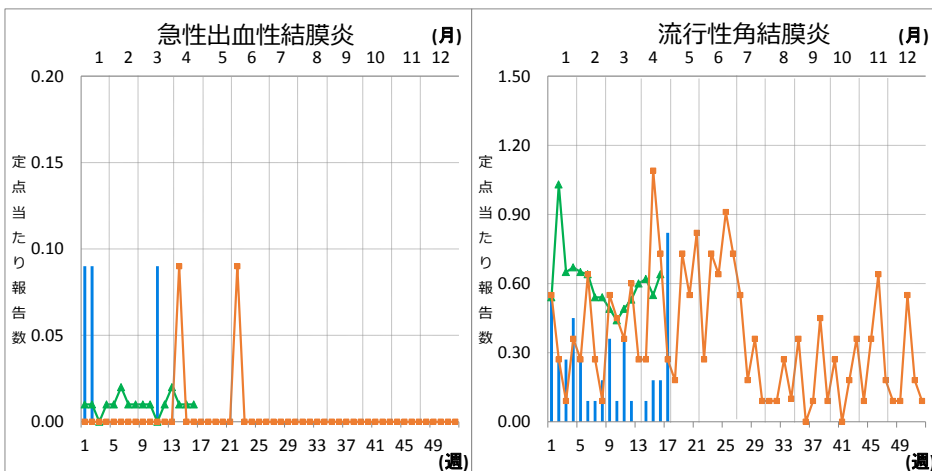
グラフの説明 ← 〓は2019年青森県、■は2018年青森県、▲は2019年全国





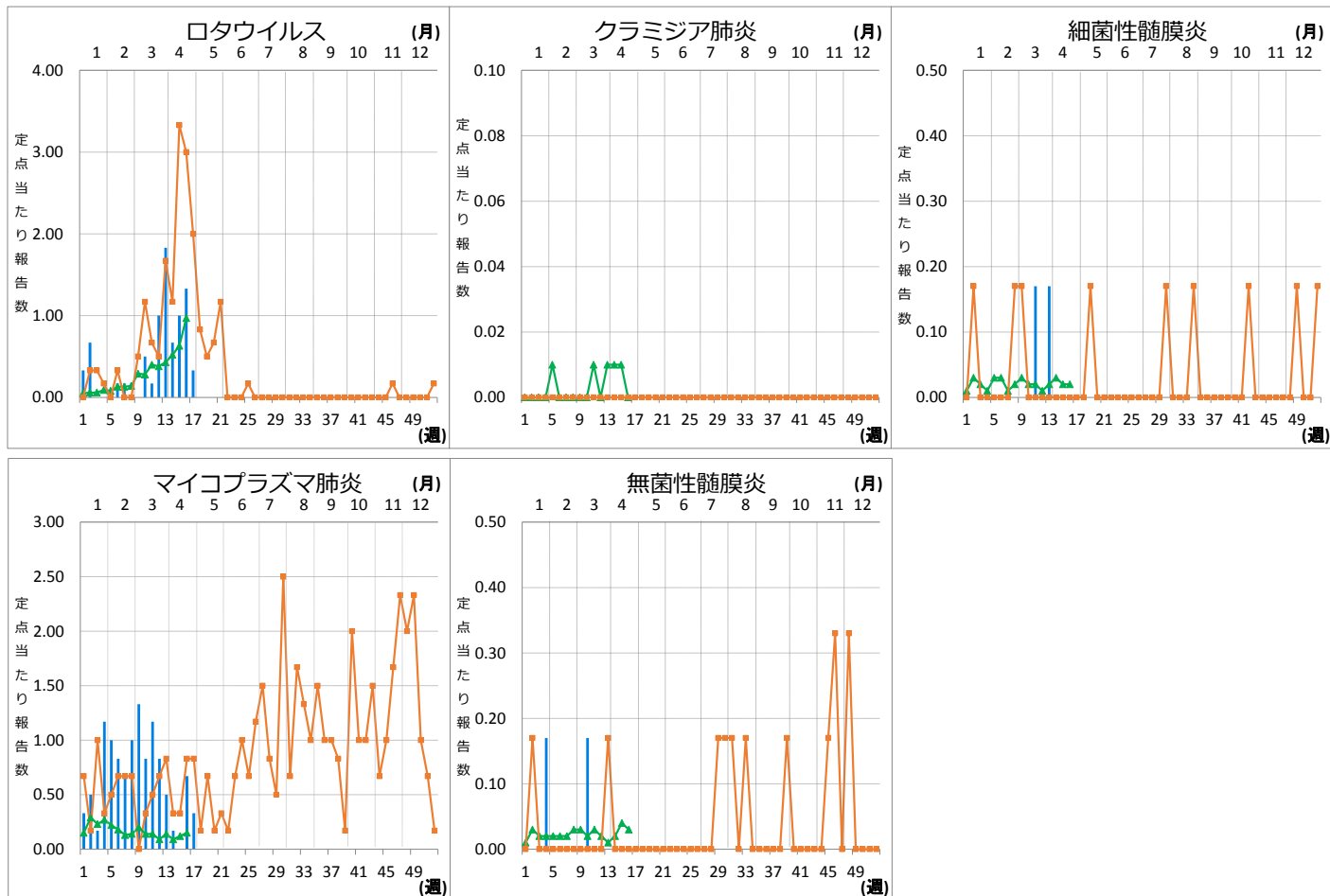
**XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2019年第17週、ただし全国は前週)**

**グラフの説明** —は2019年青森県、■—■は2018年青森県、▲—▲は2019年全国



## XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2019年第17週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2019年青森県、 は2018年青森県、 は2019年全国



## XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2019年第17週

報告はありませんでした。

2019年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月		2月		3月		4月			計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14週	15週	16週	17週			
介護・老人福祉関係施設	件数	1	0	1	0	1	0	0	0	3	
	発症者数	29	0	24	0	89	0	0	0	142	
児童・婦人関係施設等	件数	4	2	1	0	2	1	0	0	10	
	発症者数	69	47	17	0	38	15	0	0	186	
障害関係施設	件数	0	1	0	0	0	1	0	0	2	
	発症者数	0	48	0	0	0	18	0	0	66	
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計(月別)	件数	5	3	2	0	3	2	0	0	15	
	発症者数	98	95	41	0	127	33	0	0	394	